【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和7年6月18日(2025.6.18)

【公開番号】特開2025-31904(P2025-31904A)
【公開日】令和7年3月7日(2025.3.7)
【年通号数】公開公報(特許)2025-042
【出願番号】特願2024-228243(P2024-228243)
【国際特許分類】
*Ｇ０６Ｑ 30/0203(2023.01)*
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｑ 30/0203

【手続補正書】
【提出日】令和7年6月10日(2025.6.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
消費者の端末から、１又は複数の商品の名称を含むレシートに関する情報と、商品データベース上において商品を管理する名称である管理名と対応付けられて登録された、商品を識別する商品コードであって、商品から読み取った１又は複数の商品コードと、を含む購買情報を受信する受信部と、
前記受信した購買情報に含まれるレシートに関する情報を解析して、当該レシートに記載された商品の名称である表記名を抽出し、当該抽出した表記名と前記管理名とを突合することで前記管理名に対するスコアを算出するスコア算出処理と、前記端末から受信した購買情報に含まれる１又は複数の商品コードと前記スコアを算出する前記管理名に対応付けられて前記商品データベース上に記憶された商品コードとを突合する商品コード突合処理と、の結果に基づいて、前記表記名に対応する前記管理名を特定する解析部と、
を備える購買情報活用システム。
【請求項２】
前記スコア算出処理におけるスコアが最も高く、対応する商品コードが前記商品コード突合処理において前記購買情報に含まれることが確認された前記管理名を、前記表記名に対応する管理名であると特定する、
請求項１に記載の購買情報活用システム。
【請求項３】
前記スコア算出処理は、前記表記名に含まれる所定数の文字列が前記管理名に含まれるか否かに基づきスコアを算出する、
請求項１又は２に記載の購買情報活用システム。
【請求項４】
前記抽出した表記名のそれぞれに対応する商品コードの候補を前記スコア算出処理により前記商品データベースから抽出し、前記商品コード突合処理により、前記抽出した商品コードの候補と、前記端末から受信した購買情報に含まれる１又は複数の前記商品コードとを突合することで前記表記名に対応する商品コードを選択し、当該選択された商品コードに対応する管理名を前記表記名に対応する前記管理名として特定する、
請求項１乃至３の何れか一項に記載の購買情報活用システム。
【請求項５】

前記抽出した表記名のそれぞれを、前記表記名に対応して特定された前記管理名と前記商品データベースにおいて対応付けられた商品コードと対応付けて記憶するレシート情報記憶部をさらに備える、
請求項１乃至４の何れか一項に記載の購買情報活用システム。
【請求項６】
前記レシート情報記憶部は、
前記レシートに関する情報に含まれる商品の販売価格をさらに対応付けて記憶する、
請求項５に記載の購買情報活用システム。
【請求項７】
前記受信部が購買情報を受信した際に、前記レシート情報記憶部を参照して、前記解析部が抽出した前記表記名に対応する商品コードを特定し、当該商品コードが、前記受信部が受信した購買情報に含まれる商品コードと一致するか否かに基づいて、前記消費者が実際に商品を購買したか否かを検証する判定部
をさらに備える、請求項６に記載の購買情報活用システム。
【請求項８】
前記商品データベースは、前記商品コードに紐付けて商品の製造元の情報を含む商品の情報を記憶している、
請求項１乃至７の何れか一項に記載の購買情報活用システム。
【請求項９】
記憶装置を備えるコンピュータが、
消費者の端末から、１又は複数の商品の名称を含むレシートに関する情報と、商品データベース上において商品を管理する名称である管理名と対応付けられて登録された、商品を識別する商品コードであって、商品から読み取った１又は複数の商品コードと、を含む購買情報を受信するステップと、
前記受信した購買情報に含まれるレシートに関する情報を解析して、当該レシートに記載された商品の名称である表記名を抽出し、当該抽出した表記名と前記管理名とを突合することで前記管理名に対するスコアを算出するスコア算出処理と、前記端末から受信した購買情報に含まれる１又は複数の商品コードと前記スコアを算出する前記管理名に対応付けられて前記商品データベース上に記憶された商品コードとを突合する商品コード突合処理と、の結果に基づいて、前記表記名に対応する前記管理名を特定するステップと、
を実行する購買情報活用方法。
【請求項１０】
記憶装置を備えるコンピュータを、
消費者の端末から、１又は複数の商品の名称を含むレシートに関する情報と、商品データベース上において商品を管理する名称である管理名と対応付けられて登録された、商品を識別する商品コードであって、商品から読み取った１又は複数の商品コードと、を含む購買情報を受信する手段、及び
前記受信した購買情報に含まれるレシートに関する情報を解析して、当該レシートに記載された商品の名称である表記名を抽出し、当該抽出した表記名と前記管理名とを突合することで前記管理名に対するスコアを算出するスコア算出処理と、前記端末から受信した購買情報に含まれる１又は複数の商品コードと前記スコアを算出する前記管理名に対応付けられて前記商品データベース上に記憶された商品コードとを突合する商品コード突合処理と、の結果に基づいて、前記表記名に対応する前記管理名を特定する手段
として機能させるプログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００９３】

以上、本発明の一実施形態について説明した。なお、本実施形態は、本発明の理解を容易にするためのものであり、本発明を限定して解釈するためのものではない。また、本発明は、その趣旨を逸脱することなく、変更ないし改良され得るものである。例えば、上述の処理フローにおける各ステップは処理内容に矛盾を生じない範囲で各ステップの一部を省略したり、各処理ステップの順番を任意に変更して又は並列に実行することができる。

例えば、本実施形態は以下の態様を含む。

［１］

消費者の端末から、レシートに関する情報と、商品データベース上において商品を管理する名称である管理名と対応付けられて登録された、商品を識別する商品コードとを受信する受信部と、

前記レシートに関する情報を解析して、当該レシートに記載された商品の名称である表記名を抽出し、抽出した表記名と、前記端末から受信した商品コードとに基づいて、抽出した表記名に対応する前記管理名を特定する解析部と、

前記抽出した表記名と、特定された前記管理名と前記商品データベースにおいて対応付けられた商品コードとを対応付けて記憶するレシート情報記憶部と、

を備える購買情報活用システム。

［２］

前記解析部は、

前記表記名に含まれる連続する所定数の文字列が、前記管理名に含まれるか否かに基づいて、前記表記名に対応する管理名を特定する、

［１］に記載の購買情報活用システム。

［３］

前記解析部は、

前記所定数の文字列を含む管理名のうち、前記商品データベースにおいて、受信した商品コードと同一の商品コードが対応付けられた管理名を、前記表記名に対応する管理名として特定する、

［２］に記載の購買情報活用システム。

［４］

前記レシート情報記憶部は、

前記レシートに関する情報に含まれる商品の販売価格をさらに対応付けて記憶する、

［１］～［３］のいずれか１つに記載の購買情報活用システム。

［５］

前記解析部が解析したレシート表記名と前記レシート情報記憶部において対応付けられた商品コードが、前記受信部が受信した商品コードと一致するか否かに基づいて、前記消費者が実際に商品を購買したか否かを検証する判定部

をさらに備える［１］～［４］のいずれか１つに記載の購買情報活用システム。

［６］

記憶装置を備えるコンピュータが、

消費者の端末から、レシートに関する情報と、商品データベース上において商品を管理する名称である管理名と対応付けられて登録された、商品を識別する商品コードとを受信するステップと、

前記レシートに関する情報を解析して、当該レシートに記載された商品の名称である表記名を抽出し、抽出した表記名と、前記端末から受信した商品コードとに基づいて、抽出した表記名に対応する前記管理名を特定するステップと、

前記抽出した表記名と、特定された前記管理名と前記商品データベースにおいて対応付けられた商品コードとを対応付けて前記記憶装置に記憶するステップと、

を実行する購買情報活用方法。

［７］

記憶装置を備えるコンピュータを、

消費者の端末から、レシートに関する情報と、商品データベース上において商品を管理す

る名称である管理名と対応付けられて登録された、商品を識別する商品コードとを受信する手段。
前記レシートに関する情報を解析して、当該レシートに記載された商品の名称である表記名を抽出し、抽出した表記名と、前記端末から受信した商品コードとに基づいて、抽出した表記名に対応する前記管理名を特定する手段、及び
前記抽出した表記名と、特定された前記管理名と前記商品データベースにおいて対応付けられた商品コードとを対応付けて前記記憶装置に記憶する手段、
として機能させるプログラム。